

障害のある方へのサービスについてよくいただくご質問への回答

Q1：職業評価ではどのようなことをするのでしょうか？

——職業評価では、就職の可否判定、適職判定を行うものではありません。働く上でのセールスポイントやご本人が十分に力を発揮できる職場環境を理解したり、どのような支援があったら職場で安定して働いていけるのか（支援ポイント）を整理するために、生活歴や職業経験をお聞きしたり、作業検査、心理検査、ワークサンプル等個別に設定した内容で実施します。

職業評価の結果等に基づいて就職、職場適応、復職を目指した具体的な取り組みのプラン（就職までの目標、職場定着のための留意事項、就職活動の方策、利用するサービスメニュー、支援機関など）をまとめた職業リハビリテーション計画を策定します。

*遠隔地（浜田、益田、隠岐など）の場合は、出張により職業評価を行うこともできます。

Q2：企業の面接に同行して欲しいのですが対応してもらえますか？

——職業評価の結果、就職活動されている方について、必要に応じて採用面接時に同行（同席）できます。企業に対して、ジョブコーチ支援などの制度の説明が必要な場合やご本人が上手に障害特性を伝えられない等の場合でご本人の希望があるときには同行することができます。

Q3：職業準備支援の申し込み方法はありますか？

——職業準備支援では、ご本人が就職後に持ちうる能力を発揮しやすい環境や指導方法を実際の職場と似た模擬的就労場面で評価（アセスメント）することが必要であったり、就職に向けて課題や不安点を整理して職場での対応が円滑になるように職業準備支援の場面を活用してスキルを高めていくことが望ましいという職業リハビリテーション計画が策定された場合に利用することになります。

Q4：職業準備支援は毎日通えないと利用できないのでしょうか？ 職業準備支援の中で、職業準備講習だけ、あるいは対人技能訓練だけを受講することはできますか？

——職業準備支援は個々の支援計画に基づいて利用していただきます。支援計画で時間や日数を短縮したり、就職する上で必要な知識を学ぶために職業準備講習のみを受講する、職場での円滑な対人関係や職場で求められるコミュニケーションを中心に習得する等一人ひとりの計画に合わせて柔軟に対応します。

Q5：職業準備支援の作業支援ではどのようなことを行うのでしょうか？

——実際の職場に入る前に、模擬的な就労場面で“体験＋振り返り”をしながら、課題整理や対応スキルアップを行う機会になります。併せて個別にたてたステップアップ目標に取り組むにあたり、目標・課題に応じた作業場面の設定や結果の振り返りの相談等を行います。

支援で行う作業内容は、例えばデータ入力、簡易事務作業等の事務系の作業、ピッキング作業、選別作業、製造作業等の現業系の作業を用意しています。

Q6：在職中、休職中の障害者が職業準備支援を利用することはできますか？

——障害者の職場適応、職場復帰に当たって課題の整理等が必要であるという職業リハビリテーション計画が策定され、所属する事業所の同意が得られる場合には利用することができます。

Q7：職業準備支援を受けた人が就職するときはジョブコーチを派遣してくれますか？

——ジョブコーチ支援は、支援計画に基づいて実施します。職業準備支援期間中の状況を踏まえた的確な企業現場での支援を提供できますので、職業準備支援を終了された方については、就職に際してジョブコーチ支援をご利用いただくようにお勧めしています。ただし、支援の実施に当たっては、事業主の同意が必要です。